



# 院内感染対策ニュース

第59号 平成30年7月18日  
院内感染対策委員会

## 知っていますか？夏の感染症

やっと釧路も暑くなってきました。夏らしくなってきましたね。夏も色々な感染症が流行ります。例えばプール熱、流行性角結膜炎、蚊に刺されて起こるデング熱、食中毒も感染症なんですよ。今回は夏に流行する代表的な感染症について取り上げます。

### プール熱

アデノウイルスによる感染症。プールを介して感染が拡大することからこの名前で知られる。

潜伏期間は4～6日。発熱・咽頭痛・眼痛などが出現

### 流行性角結膜炎

アデノウイルス感染症。潜伏期間は1～2週間。

目やに・充血・眼痛などが出現

\*どちらも接触感染で広がります。直接的な接触(手を介して) やタオルなどの共有でうつります。

### 感染予防・対策は？

アデノウイルスはアルコール消毒が効きにくいといわれており**手洗い**が重要です。

タオルなどの共有も禁止。学校や仕事は感染性がなくなるまでお休みしないといけません。

症状が出たらすぐ病院へ受診して下さい。



手洗いが大事!!

### ダニ咬症による感染症

夏になると軽装になり肌の露出が増えます。すると増えるのがマダニ咬症。

マダニに咬まれることにより発症するのが**ライム病**や

**ダニ媒介脳炎、重症熱性血小板減少症候群**

(SFTS)等があります。

マダニに咬まれてから1～2週間で発熱や頭痛、ライム病では発疹が出現。SFTSでは血小板減少、臓器不全など重症となることがあります。致死率は30%といわれています。

### 感染予防・対策は？

ダニに咬まれないことが大前提となります。夏場は気温が上昇し肌の露出が増えます。

できる限り露出は避ける、ダニよけスプレーなどの活用も！もし、咬まれたらダニは吸血すると体が大きくなります(右図参照)

無理に引っ張るとろうとせず医療機関を受診しましょう。発熱や頭痛、発疹などの症状が出た場合は必ず医療機関に行ってください。

吸血前



吸血後



### 食中毒

食中毒は感染症？と思いがちかもしれませんが、細菌やウイルスに汚染された食品を摂取後、数時間から数日で症状が出現します。

細菌では右の病原体が多く、ウイルスではノロウイルスが代表的です。

症状の出現は病原体によっては数時間から数日で発症。

主な症状は嘔吐、下痢、腹痛など。



### 感染予防・対策は？

- \* 食材は良く洗浄、生食はしっかり過熱する。
- \* 調理器具は清潔に、洗って乾燥、場合により消毒を！
- \* 調理後の食品は速やかに摂取するまたは冷蔵庫へ。
- \* 調理前後で手洗いを！

### 食中毒を起こす主な細菌・ウイルス



腸炎ビブリオ

\* 魚介類の生食を食べて発症



サルモネラ

\* 鶏卵や加熱不十分の食肉類を食べて発症



ウェルシュ

\* カレーやシチューなどの大量調理後室温放置するとなべの中で菌が増殖、それを摂取することで発症



カンピロバクター

\* 鶏肉などの生食を摂取後発症



ノロウイルス

\* 牡蠣などの二枚貝がウイルスを保有。それを摂取することで発症。

### 食中毒の3原則

つけない 増やさない やっつける

次回もタイムリーな話題を提供します。  
お楽しみに！



今回は夏に多い感染症を取り上げました。身近な食材による感染症や小さいけれど重症になり得るダニ咬症など、様々。食中毒も色々な病原体によって症状や発症時期が異なります。まずは防ぐことが重要。手洗いや衛生管理をしっかり行って夏の感染症を予防しましょう。